

## ご質問と回答

オンライン学校説明会にご参加いただき、またアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。一部、動画・音声が乱れたところがあり、申し訳ございませんでした。

いただいた質問につきまして、回答を掲載いたします。内容が近似したご質問はまとめさせていただきましたので、ご了承ください。多くの貴重なご意見やご指摘をいただきました。可能な限り今後の説明会や見学会に活かしてまいりたいと存じます。

次の項目をクリックすると、該当のページにジャンプします。

- [海外研修関係](#)
- [言語](#)
- [インターナショナルスクール](#)
- [教科学習](#)
- [体育の学習](#)
- [英語の学習](#)
- [I C T関係](#)
- [進路関係](#)
- [部活動関係](#)
- [校風関係](#)
- [リノベーション](#)
- [生徒の様子](#)
- [高大接続関係](#)
- [休学関係](#)
- [入試関係](#)
- [新型コロナウイルス対策に関して](#)
- [感想より](#)

## 【海外研修関係】

### Q1. 海外研修の参加条件や人数、費用はどのような感じでしょうか？

→様々なプログラムがあります。データブックP. 2に詳細がございますので、ご覧ください。

### Q2. 長期留学(1年程度)のプログラムがないように見受けられますが、今後構築される予定はございますか？

→1年間の留学は制度として認められています。多くの場合、高1の夏に出発し、高2の6月頃に復学しますが、この場合、高1の単位が認められるのでそのまま進級できます。

### Q3. 中2の夏からアメリカにターム留学もしくは一年留学を検討しています。学校に戻ってくることは可能でしょうか？

→休学という形で留学することは可能です。

### Q4. 私費留学につき、復学後そのままの学年に戻るのではなく進級した場合、指定校推薦の可否をご教示いただきたいです。

→帰国後の成績に応じて、指定校推薦を得ることも可能です。

### Q5. 3か月の語学研修に興味があります。この研修はそれぞれ例年何名ほど参加していますか。成績等の選抜基準はありますか。差支えない範囲で教えてください。学校からの奨学金や交付金などの補助制度はありますか。

→3か月間のNZ短期留学は中3の1～3月・高1の7～9月で、定員はそれぞれ12名ですが、実際の参加者は5名程度です。参加するには、学校の出席状況や主要教科の成績で基準をクリアする必要があります。留学に関しては、学校からの奨学金はありません。

### Q6. インターナショナルスクールへの留学、NZ留学は希望者は全員行けるものでしょうか。それとも選抜がありますでしょうか。また、例年の実績(人数)を教えてください。

→インターナショナルスクールへの留学は最大12名で、希望者が人数を超えた場合は試験と英語面接による選抜があります。NZ短期留学は各回(Q5の回答参照)最大12名ですが、実際の参加者は5名程度になることが多いです。また、出席状況・成績の要件があります。NZ夏期語学研修の参加者は毎年20～30名ほどで、例年希望者全員が参加できています。

### Q7. ボストンカレッジ研修、ベトナムスタディツアー等、海外プログラムに興味を持ちました。これらには、希望者が全員参加できるのでしょうか？定員がある場合には、どのように選ばれるのでしょうか？

→定員に関しては、データブックP. 2をご覧ください。ボストンカレッジ研修は、約10名の定員です。語学研修とは性格が異なり、人生の意味や目的、他者との関わりを深く考える大変魅力的なプログラムです。本来米国の高校生向けのプログラムであるため、日本からの参加者の数が抑えられており、現在では男子は栄光学園、女子は清泉女学院のみが参加可能です。対象は高校生で、現地の高校生や大学生とのディスカッションなどに参加できる程度の英語力が必要です。応募者が多い場合は、英語の作文・面接による選抜となります。

ベトナムスタディツアーについては、現状、応募者はほぼ参加できています。

## 【言語】

### Q1. 英語以外の言語を学ぶ機会がありますか？

→高校2・3年生の選択授業でスペイン語を履修することができます。また、FLIPにて、中国語やスペイン語の授業を実施しています（学校案内P.6）。

## 【インターナショナルスクール】

### Q1. もし高校時、もしくは中学時代に清泉インターナショナルスクールのほうに行きたいとなった場合、その試験は受けることが可能でしょうか？

→清泉インターナショナルスクールを含め、高校進学時に他校を受験する場合は、高校進学辞退届をご提出いただいた上で必要書類を作成することになります。なお、清泉インターナショナルスクールへは、中学3年生で1週間国内留学の機会があります。

清泉インターナショナルスクールの入学資格については直接学園にお問い合わせください。

## 【教科学習】

### Q1. 通常の授業についていくことが難しくなった場合、授業時間外の指導などがありますでしょうか。具体的なフォロー体制を教えてくださいませんか？

→朝・放課後の時間に、生徒が希望をすれば、自主的な補習や個別指導を行うことがあります。中学生に対しては、英・数・国の補習を放課後に行っています。一部教科では、上位向け演習を行うこともあります。（学校案内P.12）

### Q2. 主要5教科の教材について、どちらの出版社の教材をお使いでしょうか？また、オリジナルテキストなどは使用されていますでしょうか？お教え下さいましたら幸いです。宜しくお願い致します。

→データブックP.7～9「使用教材」をご覧ください。数学では、オリジナルテキスト「カルクロ」を使用するなど、副教材として、その学年に合わせたものを使用しています。

## 【体育の学習】

### Q1. プールはありますか？また、水泳授業はどれぐらいの泳力が必要でしょうか？

→本校には、プールと水泳授業はございません。体育の授業で使用する施設は、200mトラックのある第1グラウンド、ソフトボールやハンドボールができる第2グラウンド、バスケットコートが2面ある体育館、テニスコート5面です。

## 【英語の学習】

Q1. 英会話が進度別クラスだそうです、中学受験通塾の為、英語塾には通わせておりません。全く未修のお子さんが、入学と同時にクラスを分けられる事でコンプレックスを抱かれる事はありますか？入学後、英語有段者に追いつけますか？

→中学受験の勉強が大変で、英語まで習う時間がないというお子さんは多いです。むしろ、そういうお子さんが、安心して発言できたり、間違っても大丈夫であるという感覚を持てるよう、習熟度別クラスにしました。最初のうちは、遅れているという気持ちをお持ちになるかもしれませんが、6年間という長いスパンで考えていただきたいと思います。中1でABCから始めて、こつこつ勉強していき、最終的に大学受験で英語を得意科目にして成功したという例が多くあります。

Q2. 英語の授業について教えて下さい。3段階に分かれているとのことですが、帰国子女ではない普通の入試で入った場合スタンダードになるとのことですが、その場合英語をがんばっていった場合でもずっと3コースに分かれたままになるのでしょうか？途中から一緒になるのでしょうか？

→年度ごとにクラスの変更が可能です（例：中1で英検3級を取得した場合には、成績要件をクリアすることで中2からAEクラスに参加することができます）。2020年度現在、中学3年生・高校1年生は学校の成績に基づく習熟度別授業を行っております。中1・中2のSE（一般クラス）からHigh Advanced（中3・高1の最上位クラス）に入る生徒もおります。

Q3. AREクラスでも中学3年生になるとネイティブスピーカーの先生による授業は減ってしまうのでしょうか。帰国生の英語力保持向上についての情報を頂きたいと思います。

→2020年度現在、中学3年生はHigh Advanced、Advanced、Standard、Basicの4段階の習熟度別授業になっております。High Advancedはネイティブスピーカーと日本人教員が一週間の授業を半分ずつ全て英語で担当し、ディスカッションやエッセーライティングなどを通して、英語力の保持向上をしております。

Q4. 英検2級を保持し、1期や2期試験で合格をいただいた場合、AREクラスに参加させていただくことは可能でしょうか？

→1期や2期で合格された場合は、AREクラスに参加することはできません。AREクラスへの参加を希望される場合は、グローバル入試の受験をご検討ください。なお、成績基準等をクリアすれば、中学2年生への進級時にAREクラスに入ることができます。

## 【ICT関係】

Q1. タブレットは、学校からの購入品ですか？危ないサイトへのアクセス防止は重要ですが、学校からの購入品の場合、フィルタソフトは入っていますか？ オンライン授業を通して、何か対策はしていますか？

→各ご家庭でChromebookをご購入いただきます。機器の設定を学校仕様にしてから、生徒に配付しております。中学1年生からメディアリテラシーについて学ぶ機会があり、タブレット配付時にもオリエンテーションを行っています。

## 【進路関係】

Q1. 大学受験に向け、国立大学や、特定大学向け特別クラス編成などはありますか？大学から海外の大学にむけ留学する人はいますか？その場合のサポートはありますか？

→特別クラス編成はございません。クラス内で様々な志望の生徒たちと切磋琢磨することができます。海外大学への進学に興味をもつ生徒は増えてきており、希望者を対象に、外部講師を招いて「海外進学セミナー」を実施しています。

Q2. 生徒の大学進学時の文系・理系の比率はどれくらいでしょうか。高校の進路別クラスは何年生からで、希望者は全員理系クラスになれますか？

→高校2年生より文系・理系に分かれます。割合は年度により異なりますが、ここ数年、理系は学年の3～4割程度です。文理の選択に人数制限はございません。高校1年次の面談等で担任・教科担当者と相談し、進路を決定します。

Q3. 上智カトリック推薦とは、具体的に何学部何科ですか？

→2020年度入試では全学部全学科が対象でした。今後、大学側から通知される推薦の条件は変更されることもございます。

Q4. 大学指定校推薦について、学部は決められているか。または選択可能なのでしょうか。

→指定校推薦の条件は、大学によって異なります。また、今後変更されることもございます。

## 【部活動関係】

Q1. 部活動について質問いたします。女子サッカー部はありますか？ない場合、子供達から部を発足することはできますか？

→女子サッカー部はありません。新しいクラブを設立するには、生徒会規定に基づく手続きが必要になります。

Q2. 部活動は、「文化祭・体育祭を目標に」と動画でありましたが、対外試合等は行っていますでしょうか。中学校のバレーボール部や卓球部・器械体操部・テニス部・ダンス部に関心を持っています。

→バレーボール部、卓球部、テニス部、その他スポーツ部は他校との練習試合を行ったり、公式戦に参加したりしています。器械体操部は清泉祭での発表を行っています。ダンス部も清泉祭や体育祭での発表を行うほか、受験生向けの校外イベントで発表を行うこともあります。

Q3. 娘は清泉女学院が大好きで、器械体操部に入部したい、と申ししております。器械体操部の皆さんは、大会などに出場されていますか？

→器械体操部は、現在大会には出場していません。その代わりに、清泉祭にて体育館で演技を行っています。

## 【校風関係】

Q1. 以前見た資料で各学校の校風のマトリクスがあり、自主性⇔ 管理の軸で御校は自主性の方に強く振れていました。第三者の評価ではありますが、御校のどのような点がこの評価になったと思われませんか？

→本校は女子校ということもあり、いろいろなルールはありますが、それを上から押し付けるのではなく、生徒に理由を説明し、生徒も納得したうえで行動しています。また、生徒自身も、どういう行動が社会のためになるのか、自分たちのためになるのかということを考えて行動するという教育になっているので、自主性の方に振れたのではないかと思います。学校案内P. 4 下欄に記載した「Seisen Peace Project」は生徒が発案したものです。また、同ページの「中高生AI倫理会議」やP. 6の「模擬国連」なども生徒が主体となり、教員等が補助する形のプログラムです。クラブ活動が活発なのも、生徒の自主性の賜物です。

Q2. 現代において共学ではなく別学であることのメリットはご教授される側のご経験からどのようなものと感じられておられますか。

→学習面では、時間をかけて地道に努力する生徒が多いように感じます。まとまりのある集団として学習計画を指導することで、習慣の早期定着が期待できます。また、女子だけで生活することで「私もリーダーになるかもしれない」という意識が芽生えます。そのことがリーダーに手を挙げやすい環境につながっています。学校行事など、全て女子だけで運営するので、自主性や逞しさが養われます。「女子だから」という理由で自分で自分の能力に限界を設けてしまうことがない、ということは、これからの時代を生きていくうえでメリットになると思われま

## 【リノベーション】

Q1. 「平日 授業」「土曜 総合」との説明がありましたが、土曜日は基本的に登校日になるのでしょうか？

→来年度より土曜日は登校日となります。学校行事や総合以外の学習活動も考えており、ほとんどの土曜日に予定が入ります。

Q2. 土曜日授業の頻度と内容の詳細を教えてください。

→授業としては「総合」のプログラムを行います。そして、教頭より紹介させていただいた清泉の4つのスペシャルプログラムに関わる校内外の活動、補習、受験演習などを実施する予定です。

## 【生徒の様子】

- Q1. 通学されている学生さんの居住地はどこからでしょうか。（町田市在住ですが、いらっしゃいますか）  
→学校案内裏表紙・左下に記載しています。ご質問いただいた方の地域からも通学している生徒がいます。
- Q2. 学校生活で、高校生の生徒さん達との交流がクラブ活動以外でございましたら、お聞かせ下さい。  
→委員会は6学年で活動しています。模擬国連やAI倫理会議など、自主的に参加する校内活動では、中学生と高校生の垣根を越えて交流しています。
- Q3. お昼ごはんはお弁当でしょうか。毎日お弁当が必須なのか、食堂等でお昼ご飯を頼むことができたりしますでしょうか。  
→基本的にはお弁当です。業者による日替わり弁当の販売や、パンの自動販売機があります。生徒たちに好評です。
- Q4. もともと自主性が強く、子供の性格にあっているから通っているという生徒さんが多いのでしょうか？娘が御校を希望しておりますが、自ら発言する姿が見られないので、ついていけるのか不安です。  
→自ら発言する姿は、当校に入学した後から十分に身につけていきます。また、必ずしも自ら発言するだけが良いこととは限りません。お互いの個性を認め合い、多様な生き方に触れることで、「自分という存在が大切なものなのだ」と自己肯定していきます。
- Q5. 中1～高3まで、クラス替えはいつありますか？  
→中1～高2まで毎年4月に行います。高2・3は同じクラスです。

## 【高大接続関係】

- Q1. 内部進学で清泉女子大に行く事が出来る条件はありますか？  
→清泉女子大への進学には、「姉妹校推薦」の制度があります。学科によっては英語の要件がありますが、基本的には希望者は進学することができます。
- Q2. 高大接続入試についての質問です。利用した実績の人数が、思っていた程多くないと感じました。実際のところ、利用の条件が厳しいのでしょうか？それとも、必要ないと判断している生徒が多いのでしょうか？この人数に至る経緯を教えてくださいと幸いです。よろしく願いいたします。  
→清泉女子大学には理系の学部はありません。従って、理系の生徒の大半はこの制度を利用しません。また、文科系の生徒でも、清泉女子大学に希望する学部・学科がない場合は、この制度を利用しません。また、出願条件の中に一定の学力基準がございます。高校3年間の評定平均値の「中の上」程度を目安と考えてください。

## 【休学関係】

Q1. 親が海外勤務となって子供も一緒に日本を離れる場合、子供は貴校に在籍を継続する事は可能でしょうか？また可能な場合、期間の制約や学費の条件等がありますか？

→現地の「日本人学校」に転校される場合は、（二重に「籍」を置けないため）本校を退学することになります。（帰国後の編入については、別途ご相談ください。）現地校に転校される場合は、一年間の「休学」が認められます。その場合、授業料と積立金それぞれの半額を納めて頂きます。

## 【入試関係】

Q1. 昨年まで、2月1日午前入試を受験する受験生のみ、事前面談があり、第1志望の受験生と保護者は心強い時間になると伺っておりました。2021年度より、事前面談がなくなると伺いまして、そのような機会がなくなることをご不安に感じております。第1志望の受験生に対する、受験におけるご配慮や優遇措置は何かありますでしょうか？受験可能なすべての入試を受験した際など含めまして、ご教示いただけますと幸いに存じます。

→これまで1期の事前面談では、小学校で特に頑張ってきたこと、志望動機などを伺ってきました。新たに導入する「活動報告書」に、小学校で特に頑張ってきたことなどを記入できるようにしたいと考えています。

優遇措置についてでございますが、1期・2期・3期については、これらを複数回受験された方が合否のボーダーラインに入られた場合に、その方々を優遇するという、繰り上げ合格者は、複数回受験された方の中からのみ決めさせていただく、ということが現在決まっております。

Q2. 2022年度の三教科受験に関して、英語の難易度が上がる見通しはありますでしょうか？

→3教科試験の英語は、小学校で英語が教科になる、という動きから導入を決めたものです。今後、小学校での英語教育が順調に進むようであれば、それに合わせて多少難易度が上がることも考えられます。

Q3. 入試での足切り点がありますか？

→入試は、いわゆる「足切り点」はなく、総合点で合否を決めていきます。

Q4. 入試結果は4教科合計点で決まりますか？国語算数を重視して、理科社会は補足程度、などの特性はありますか？

→1期は4教科すべて100点満点、あくまでその合計点で決まりますので、国・算の優遇はありません。3期4教科試験は、国・算が各100点満点に対し、社・理が各50点満点、その4教科の合計点で決まりますので、国・算の比重が高くなっています。

Q5. 2/1午前入試に面接がありますが、受験番号順ですか？時間は何時からですか？一人当たりの面接時間はどのくらいですか？

→2021年度より、1期の事前に行っていた面接は廃止いたします。

Q6. 受験の際、通知表提出となっておりますが、いつからいつまでの通知表が必要ですか？

→1期の面接と同様、通知表の提出はなくす方向で検討しています。その代わりに、「活動報告書」を提出していただきます。今まで行ってきた活動を書いて提出していただきます（書式などの詳細は、入試要項の発表をお待ちください）。

Q7. 2期試験の受付、試験時間が①、②の時間に分かれています、昨年までのように事前に決めておく必要はなく当日どちらかに間に合えばよいのでしょうか。

→その通りでございます。

Q8. 3期試験の四教科試験の場合、社会と理科で合計60分と記載されていますが、これは各30分で区切られてはおらず、60分通しで受験生本人の配分で二科目をこなすということでしょうか。

→その通りでございます。

Q9. 先程のオンライン説明会で、2021年度の入試では通知票の写しは提出せずに、紙面へ記入して提出というお話でした。2022年度の入試でも同じようになるご予定でしょうか？

→その予定でございます。

Q10. 来年度より、「事前面接」及び「通知表」の提出不要との事ですが、これまでそれらが選考の際に占めていた割合はどのくらいでしょうか。「活動報告書」の内容は点数化されるのでしょうか。（英検3級取得で試験への点数加算等）

→これまで行ってきた面接については、「合否には関係しません。お互いが知り合う場と考えてください」と申し上げて参りました。「通知表」は、小学校の在籍確認が主な目的でした。今般、「活動報告書」による自己申告でこれは十分だと判断しました。なお「活動報告書」は、点数化しません。

Q11. グローバル入試の2019年度、2020年度の問題がウェブサイトには掲載されていないようですが、今後掲載される予定はございますでしょうか？

→「帰国生入試」の問題と同質・同難易度で、そのサンプル問題をHPに掲載しております。そちらを参考にさせていただきます。

Q12. 算数1科目受験の募集人数は何人ですか？

→現在検討中です。9月に公表する「入試要項」には記載いたしますので、そちらをご覧ください。

Q13. 三期試験では、4科受験と、3科試験とが行われますが、どのように合否判定していますか？

→4科が合計300点満点、3科も合計300点満点ですので、両者の受験生の総点を同じテーブルに載せて合否を決めています。

Q14. 帰国生B方式を考えていますが、日本語での作文内容はこういった物になりますでしょうか？過去の事例等を教えていただきたいです。

→外国生活についての文章を読み、それを要約し、その内容と関連した受験生の海外体験を問う設問による作文です。基本的な国語の力を測るもので、決して難しいものではありません。サンプル問題がHPに掲載されているのでご覧ください。

## 【新型コロナウイルス対策に関して】

### Q1. 休校中の学習はどのような内容・方法で行われましたか。

→長い休校期間でしたが、本校はICT化を進めており、オンライン配信を含め比較的スムーズにできました。中3から高2までは自分のChromebookを持っているので、そちらに配信を行い、その他の学年は自宅のPCや人によってはスマートフォンに配信しました。具体的には、授業の内容に応じて動画配信、LIVE授業、双方向授業、プリント・PDFなどのほか、Google Meetの機能で朝礼を実施したり、学年によっては面談も実施しながら、生徒とコンタクトを取り学習を進めました。

### Q2. 現在の学校は分散登校とのことですがオンライン授業と並行で行っているのかなど具体的に教えていただけると幸いです。

→6月26日までは、1コマ35分の短縮授業を対面で実施しています。1週間の時間割を4週で実施します。対面授業がない日には、ライブ授業やオンライン配信等を行っております。

### Q3. 現在タブレット授業を実施中とのことですが、時間割と時間は学校での授業と同じですか？また、授業中の質問や、小テスト・定期テストは実施していますか？

→6月26日までは、1コマ35分の短縮授業を対面で実施しています。1週間の時間割を4週で実施します。その他、オンラインのツールを使用し、質問をライブで受け付けたり、テキストでやり取りしております。小テストは対面授業でもオンラインでも行っております。通常5月末と7月に実施している定期試験は中止しました。（高3は、7月定期試験を実施予定。）

### Q4. 登校のバス通学に際して密集が懸念されますがどのような対策をされていますか。

→登校時は大船駅バス停、下校時は清泉女学院バス停それぞれに教員が乗車整理にあたり、乗車人数を制限しております。また、バス会社の協力を得て、続行便を運行して頂いております。

### Q5. クラス数について質問があります。2019年度より中1が5クラス編成になったとお伺いしております。昨今のコロナウイルスの感染拡大もあり、今後、現行の定員で中2や中3等でも5クラス編成に拡大するご予定はありますか。

→校舎内で使用できる教室数に限りがあるため、現段階では予定はありませんが、今後の社会状況を見て必要となれば検討しなくてはいけない問題だと考えています。

### Q6. 考える教育ということで、生徒たちが一緒に活動する機会が多そうですが、コロナの対策で難しいところもあるかと思えます。これからどのように対策されていく予定でしょうか？

→5月までの休校期間中の実績を基に、対面授業とオンラインを活用した取り組みの両方の利点を活かして対応していきます。

### Q7. 来冬にコロナウイルス感染症が流行している場合でも、体調不良の別室受験というのは可能なのでしょうか。

→受験の時期にコロナウイルス感染症が流行していて体調不良の場合は、来校はお控えください。

Q8. 入試時期にはコロナウイルス感染症の流行が心配されます。現状のように濃厚接触者で外出自粛などの行動が制限されたりすることが起こる場合、受験機会は失われてしまうのか、これまで頑張ってきているだけにとっても心配です。何か考えていらっしゃる救済案はありますか？

→新型コロナウイルスの感染状況が中学入試に与える影響については、清泉女学院だけでなく、首都圏の私学全体で対処しなくてはならない問題です。入試実施について、今後変更が生じる場合はその都度ホームページなどでお知らせします。

#### 【感想より】

Q1. 65分授業になり、子どもたちは長いと感じていないのか？

→65分授業は来年度からです。授業内の様々な活動を通して学びを深めていくために必要な授業時間と考えています。もちろん教員も研修を積んで新たな工夫や形を導入していきます。